

令和4年度 第1号



勝淵神社と兜塚（三鷹市）

織田信長の重臣柴田勝家は信長亡き後豊臣秀吉に敗れ越前北ノ庄（福井市）で自刃したが、孫の権六郎（勝重）を上野国に逃した。のち勝重は徳川家康に仕え上野国に2千石を拝領、大坂の陣での戦功により現在の三鷹市新川、中原周辺を加増され、ここに陣屋を建てて住居とした（現在の島屋敷あたり）。屋敷の北方水神の森に社殿を建立し、祖父勝家から受領の兜を神霊として埋納し、社号を勝淵神社としたという。

■ 目次 ■

巻頭言「地域の輪」……………(1)

令和4年度

北多摩東地区保護司会定期総会の開催……………(2)

多摩連情報……………(3)

地域活動部活動報告 地域別定例研修……………(4)

ぶんくつピックス……………(6)

更生保護女性会活動報告 桐友会だより……………(7)

BBS会……………(7)

コラム「窓」……………(8)

四市のコミュニティパス……………(8)

退任・新任保護司紹介 弔意……………(8)

編集後記……………(8)

(8)(8)(8)(7)(7)(6)(4)(3)(2)(2)(1)

三鷹警察署長の齊藤でございます。
新型コロナウイルスにより、2年以上にわたりピークの波とそれに伴う活動制限が繰り返される中、北多摩東地区保護司会の皆様におかれましては、日々更生保護活動にご尽力されておりますことに深く感謝申し上げます。

都内における少年人口が微増している現状において、少年非行は減少傾向にあることは、保護司の方々をはじめ、地域社会や官民が一体となった各種対策の効果と感じているところでございます。しかしながら、今年4月、成年年齢を18歳に引き下げること等を内容とした「民法の一部改正法」が施行となりましたが、昨年都内では、大麻取締法違反や特殊詐欺事犯で検挙された少年が前年比で増加しております。

また、昨今の少年非行の背景には、コロナ禍などの影響からコミュニケーション能力不足、学校や地域における人間関係の希薄化から孤立化や疎外感を抱いていることにあるといわれています。犯罪情勢や未来ある青少年を取り巻く環境は日々変化しておりますが、このような時代こそ、保護司会の皆様をはじめとした関係機関や地域住民と警察署とが情報共有し、地域ぐるみで犯罪者及び非行少年の立ち直り支援や再犯防止などの改善更生ができる「地域の輪」によって、安全で安心して暮らせる街の実現に取り組んでいきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いたします。



結びに、北多摩東地区保護司会の益々のご隆盛と、会員皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

令和4年度 北多摩東地区保護司会 定期総会の開催

北多摩東地区保護司会定期総会が、令和4年4月21日武蔵野スイングホールで開催されました。

総会は新型コロナウイルス感染症防止に留意し、規模縮小にて開催されました。

会員54名、来賓7名、事務局7名保護観察所担当官2名の出席がありました。

小山茂会長より、保護司活動が制限される中、できる範囲での活動に対するお礼や、来賓の



ご紹介と感謝の言葉がありました。続いて、東京保護観察所立川支部藤井淑子支部長よりご挨拶をいただきました。



ご来賓は、各市の副市長、山代桐友会会長、林更生保護女性会会長にご臨席いただきました。総会の進行は、小川和男総務部長により、議長は五十嵐京子保護司(小金井)、副議長には宮崎邦子保護司(国分寺)、書記は小山直子保護司(小金井)を選出し議事に入りました。



令和3年度活動報告を宮下みさこ副会長より、収支決算書を三橋優子会計理事が報告しました。

続いて監査報告を田中良人監事が報告しました。

次に小山茂会長より、令和4年度活動計画(案)及び望月加奈子会計理事より収支予算(案)の説明があり、全員一致で全ての議案は原案通り承認されました。

閉会にあたり、千本木勘博副会長より閉会の挨拶があり、終了しました。

(総務部長 小川 和男)

多摩連情報

多摩地区保護司会連絡協議会

及び代表者協議会

令和4年6月24日(金)開催

○令和3年度事業報告・収支決算報告・監査報告について

○令和4年度事業計画(案)・収支予算(案)について

○各部会の方針について

○受表彰賀会について

○保護司全体研修について

広報部会

令和4年7月11日(月)開催
各地区広報部活動の情報交換を行った。

研修部会

令和4年7月13日(水)開催
令和5年2月27日開催予定の全体研修について議事検討をした。

総務部

令和4年7月14日(木)開催
令和4年12月2日開催予定の受表彰賀会について議事検討をした。

地域活動部

令和4年7月14日(木)開催
各地区の地域活動、社明運動の情報交換を行った。

地域活動部 活動報告

コロナ禍のため施設に伺って見学することはできませんでしたが、立川支部の会議室に東京西少年鑑別所（東京西少年支援センター）から法務技官那須様と法務教官稲神様に来ていただき、北多摩東BBS会との合同研修を3月1日に開催しました。会議室とオンラインで合計14名、BBS会から4名が参加しました。

非行少年たちとの関り、少年鑑別所の役割などについて講師のお二人からとても丁寧にわかりやすく説明をしていただきました。少年鑑別所の法務少年支援センター



では地域のニーズに応じて様々な相談支援をしていて、相談件数も多く大変忙しいそうです。しかし、とてもやりがいのある仕事として日々取り組まれているとの話があり、最後にBBS会の学生向けに採用試験についても具体的な説明がありました。

今回、東京保護観察所立川支部の多大なご協力で実施ができました。ありがとうございます。BBS会の学生だけでなく、保護司としても大変参考になる話を聞くことができました。今後このような機会を作っていけたらと思います。

（地域活動部長 田中 博）

地域別定例研修

令和4年度 第1期地域別定例研修
研修テーマ
「良好措置・不良措置について」



第1期地域別定例研修が6月16日（木）小金井市市民会館、6月30日（木）武蔵野プレイスで開催されました。

渡邊主任官の講義では、1号観察から4号観察についての説明に始まり、成人年齢が20歳から18歳になった事による「特定少年」の扱い、保護観察対象者が遵守事項を守り、社会の順良な一員として更生した場合の良好措置と遵守事

項を守らず、改善更生のために保護観察を継続させることが困難と認められる場合の不良措置について、テキストには書いていない実例を交えた、わかり易い講義をして頂きました。

昨年、保護司を委嘱され2年目となりますが、対面式の実務研修がコロナ感染症により全て中止となり、DVDやオンラインによる自宅研修は行われていましたが、対面式の研修としては初めての實務研修となります。自宅でも学習しておりますが、対面式の研修も様々な実例を知ることができ、良い勉強になりました。

（小金井分区 星野 智樹）



ぶんくろピックス

武蔵野分区



西部コミュニティセンターにて
広報活動



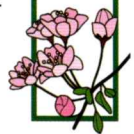
コロナ禍で暫く中止となっていた「社会を明るくする運動」を7月17日に西部コミセン内で行いました。西部コミセンは亜細亜大学の北東に隣接した場所にあり、西部コミュニティ協議会運営委員会の主催する「第10回西部コミセンまつり」が開催され、保護司会のブースを頂きました。
地下の体育室では第二小学校の「むさしのばやしクラブ」による

大小の太鼓・鉦・笛の4つの楽器での演奏や、亜細亜大学応援指導部チアリーディングによるアクロバティックな演技などが披露され、2階では人形劇と手遊び、そして1階ロビーでは健康クイズ、JA野菜販売、そして保護司会のブースがあります。

のぼり旗を掲げタスキをかけた保護司と事務局8名が参加し、地域の方々や他の参加団体の方に「生きづらさを生きていく」と保護司増員のリーフレットと幾つかの啓発ノベルティ、お子様にはホグちゃんぬりえを配り、松下玲子市長も応援に駆けつけるなか活動のアピールを行いました。
(岩井 昭治)



三鷹分区



「社会を明るくする運動」

三鷹分区の取り組み

今年度三鷹分区では、三鷹商工祭り(7月16日〜17日)での刑務作業製品の販売と市役所ロビーでの社明運動紹介パネル展(7月25日〜29日)に取り組みました。



三鷹商工祭り 刑務作業製品販売

3年ぶり開催の商工祭り、初日はあいにくの雨、2日目は一転して猛暑となりましたが、祭り全体の入場者は約2万人と盛況で、用意した刑務作業製品32種類369点は2日目昼過ぎには完売となりました。特に人気だったのは横須賀刑務所の「ブルースティック」という固形洗剤で、毎回これを目

当てに来場する人もおり、販売する保護司の間でも人気商品になっています。

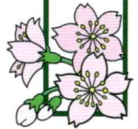


社会を明るくする運動紹介パネル展

社明運動紹介パネル展は保護司会だけでなく更生保護女性会や三鷹警察署も加わり、それぞれの活動内容を展示しました。また河村市長のメッセージや昨年度東京保護観察所長賞を受賞した市内中学生の社明運動に関わる作文も展示されました。期間中、展示ブースを熱心に見学される方やアンケートに記入される方など多くの市民の方のご協力がありました。昨年度の反省から今回は展示期間中の対応係を配置する予定でしたが、急激なコロナ感染拡大に伴いそれができなくなつたのは残念でした。

(高麗 静男)

小金井分区



第七ブロック保護司組織運営連絡協議会が、令和四年十月二十七日に、ルネ小平において開催予定です。

各保護司会が意見書に基づいた基調報告(約十分)を行い、その後意見交換を行います。現在準備会が開催されており、北多摩東地区の協議題については、①保護司適任者の確保に向けた現状と課題について②更生保護サポートセンターの現状と課題についてとし、現在各分区の意見書を取りまとめています。

また、北多摩東地区の意見発表については小金井分区が担当します。コロナ禍での開催につき、協議員については各分区の代表者が参加します。なお協議内容報告書については、協議会終了後配布の予定です。

(総務部長 小川 和男)

国分寺分区



ひまわり畑探検

皆さんは国分寺市日吉町の内藤橋街道沿いに、迷路ができるひまわり畑があるのをご存知ですか? 「社会を明るくする運動」で畑をお借りして今年で15年目になります。

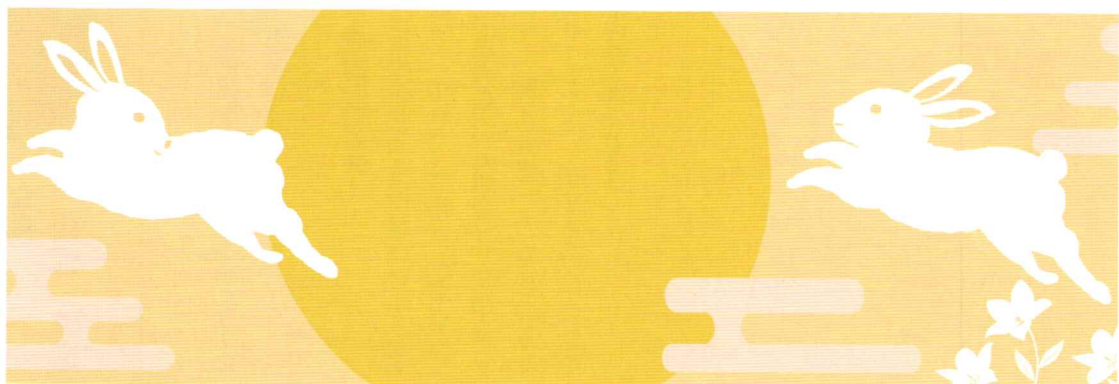
毎年小学三年生(今年は五小・十小)のお子さんがひまわりの種を植え、7月中旬頃から畑がひま



わりでいっぱいになるので、どなたでも迷路を体験することが出来ます。子連れで遊びにきたお母さんが、私も小学生の時にひまわり迷路で遊んだと言っていた。「継続は大切なんだ」と畑の持ち主の森田さんがお話ししていました。

お子さんが畑を走り回る体験はなかなか貴重だと思えます。7月13日、小雨の中、五小の児童が畑に遊びにきて楽しんでいました。また、地域の方がひまわりを鑑賞していたり、子ども達の喜ぶ声が響きました。

(金子 千佳)



更生保護女性会
活動報告

更生保護女性会

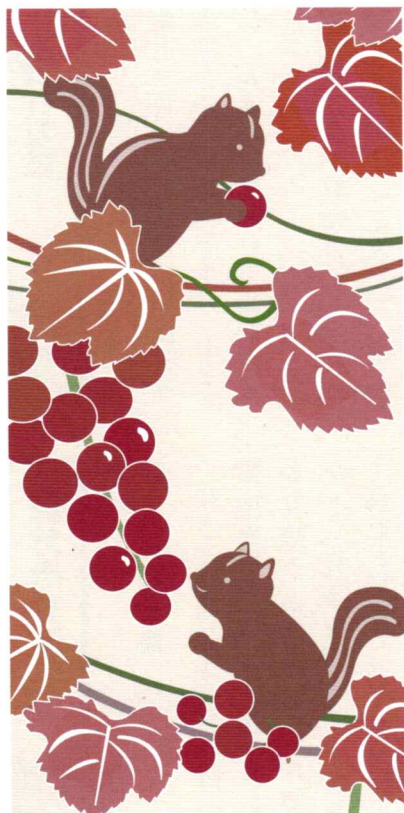
会長 高木 和子



今年度より、
前会長林邦子
から引き継ぎ
ました小金井

分区の高木和子と申します。私
には、大変重い役ですが、皆様
のご協力を得ながら、努めて参
りたいと思います。

北多摩東地区更生保護女性会
といたしましては、去る5月19
日に、北多摩東地区保護司会の
会長並びに各地区分区長のご臨
席を賜りまして、令和4年度総



会を開催し、新年度を無事迎え
ることが出来ました。

昨年度は、コロナ禍の影響に
より、地区としての活動は出来
ませんでした。各分区に於いて
は、保護司会と協力し、社明
運動の広報活動として、市民に
向けてのパネル展や、ひまわり
畑の育成と迷路作り、コンサー
トを開催しました。また養護施
設への支援、東京学芸大学学生
へ「新型コロナウイルス支援
金」の寄付をいたしました。
取り戻しつつある日常とはい
え、以前と異なる状況に即した
「女性でなくてはできない支援
は何か」に思いを巡らし、活動
に繋げていきたいと思ってお
ります。

桐友会だより

●北多摩東桐友会

北多摩東桐友会は平成23年3
月29日に設立され、昨年在10周
年記念の年でありましたが、新
型コロナウイルスの感染蔓延の
ため総会を開催できませんでし
た。

本年は4月以降、諸行事が解
禁となり当会も6月7日武蔵野
市「本町コミセン」において、
総会を開催いたしました。

会議は令和3年度の事業及び
決算報告、続けて令和4年度の
事業計画(案)、予算書(案)の
審議が行われました。

終了後、御来賓の北多摩東地
区保護司会・小山茂会長をはじめ
各副会長(分区長)、同更生
保護女性会高木和子会長(代
理、林邦子前会長)の方々から
ご祝辞をいただきました。今
回、会員の出席は14名でした



会長
山代 法道

が、皆様から近況報告があり有
意義な会となりました。

●東京桐友会

東京桐友会も同様コロナの影
響で、昨年、一昨年と理事会、
「会員の集い(総会)」が中止と
なり「桐友会報」の発刊のみと
なりました。本年も各会合は中
止と決定されました。



BBSA会

北多摩東BBS会

会長 前田 みのり

この2年はコロナ禍でBBS会も活動が行えない状況の中、令和4年3月1日に保護司の皆様との合同研修会がありました。

東京西少年鑑別所の職員の方から「非行少年たちと向き合うこと」少年鑑別所の役割等について」という演題でいろいろなお話をお聞きしました。

私は非行少年と関わりたいと考えながらも、自分がどのような立場でどのように関わらなければならないか、上から目線で可哀想だと考えているのではないかと、とも思っていました。お話を聞いて、自分と相手が違うことは当たり前だと認識できれば、相手との差異を特別

だと思わないようになるのではないかと、変な区切りや偏見を持つことなく、1人の人間として相手を見続けられるような人になりたいと思いました。

BBS会では今後、ひまわりコンサートにおける活動紹介、児童養護施設での学習ボランティアなど実施の予定です。お話をいただけただご縁を大切に少しずつ活動していきたいらと考えております。



コラム 『窓』

私と和菓子

三鷹分区 笠岡 展子

私が和菓子屋の2代目女将になったのは29歳の時でした。縁あって和菓子屋の長男である中学の同期生と結婚したので。それまで和菓子には興味もなく、四季を通して菓子が変わっていくことさえ知りませんでした。

あれから数十年、亡き義母には様々なことを教えていただきました。

四季を楽しめる和菓子は日本の伝統文化のひとつであり、その時々行事に合わせて和菓子があります。また、

同じ和菓子でも春はぼたもち、秋はおはぎと季節によって呼び方が変わるものもあります。お正月の花びら餅から始まって、桜餅、柏餅、鮎、水ようかん、くず桜等々、季節ごとに素材や形も変わってゆく和菓子の世界はとても奥深いものです。

よく義母は、商いは飽きちゃいけないのよと言っておりましたが、健康で働けることに感謝しながら精進する日々です。



柿



おはぎ



菊 山ずと 萩 桔梗

年二回発行 昭和四十八年十月一日創刊

令和四年九月一日発行

三鷹市：みたかシティバス

みたかシティバスは、小型バスとスタジオジブリがデザインした黄色い中型バスが運行しています。現在は、三鷹市の特産品であるキウイフルーツをモチーフにした背景に、三鷹のキャラクター「Poki (ポキ)」をデザインしたラッピングバスも運行しています。



また、さらなる利便性の向上のため、ルートの見直し等も進めています。

武蔵野市：ムーバス

ムーバスという愛称は公募により提案されたもので、武蔵野市のバスというだけでなく、英語で動くことを意味する「ムーブ」と私たちをという意味の「アス」を組み合わせた「ムーブアス」からの造語でもあります。

私たちみんなを運んでくれるコミュニティバスですが、ムーブには「行動を起こす」「感動させる」という意味もあり、市民を街に誘い出してくれるバスであってほしいという願いも込められています。



写真提供：武蔵野市

コミュニティバス

国分寺市：ぶんバス

【名称の由来】

市民公募で頂いた名称を審査し、国分寺市のイメージのしやすさ、呼びやすさ、親しみやすさ等を検討した結果、国分寺市をイメージできる国分寺の分とバスを合わせ、「ぶんバス」と決定した。



【ルート数】

6ルート
利用者数:2,235人/日
(令和3年度実績)

小金井市：CoCoバス

【CoCoバスの基本方針】

- ①路線バスを補完するサービスの提供
- ②交通弱者に配慮したサービスの提供
- ③日常生活に即したサービスの提供
- ④持続可能な運行形態・サービスの提供



退任保護司

永い間お疲れ様でした。今後も益々お元気でご活躍ください。さいますよう祈念申し上げます。

井上 智順氏(小金井分区)

令和4年5月24日(在職16年)

小森 裕史氏(国分寺分区)

令和4年8月31日(在職7年)

新任保護司

左記の方が委嘱されました。今後のご活躍を期待いたします。



(国分寺分区)
二瓶比呂子氏
2月1日発令



(小金井分区)
大橋純子氏
5月25日発令



(小金井分区)
村澤司氏
5月25日発令



(武蔵野分区)
下平紀子氏
5月25日発令



(三鷹分区)
小野純一氏
5月25日発令



(三鷹分区)
安達真弓氏
5月25日発令

弔意

永年にわたり更生保護活動にご尽力された、元北多摩東地区保護司会会長の須崎様が逝去されました。生前のご功績をしのび、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

須崎 英夫氏

令和4年6月11日逝去
享年81歳

編集後記

今年は、少しずつですがコロナ以前の日常になりつつあると思つて、初夏を過ぎていると、あつという間に梅雨が終わり、酷暑になって、熱中症対策が大変なさなか第7波の新型コロナウイルスが猛威を振るっています。

感染拡大防止対策をしながらですが、広報部で集まり、行事等もなく記事がないのですが、部員たちで知恵を絞って編集を行いました。(広報部一同)

発行者 編集人

北多摩東地区保護司会
吉野武 電話〇九〇(二九〇〇)九六二五